

令和2年度ふじみ野市下水道事業会計予算の概要

1 総括

本予算は、令和2年度の下水道事業に係る予算について編成を行いました。

2 業務の予定量は、次のとおりです。

(1) 水洗化戸数	49,800戸
(2) 年間総排水量	14,209,450 m ³
(3) 一日平均排水量	38,930 m ³
(4) 主要な建設改良事業	
ア 汚水施設整備事業	21,780千円
イ 雨水施設整備事業	94,611千円
ウ 流域下水道事業	144,019千円

3 予算規模

(1) 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりです。

収入

下水道事業収益	1,757,859千円
営業収益	1,327,737千円
営業外収益	430,121千円
特別利益	1千円

支出

下水道事業費用	1,604,122千円
営業費用	1,521,254千円
営業外費用	74,868千円
特別損失	3,000千円
予備費	5,000千円

(2) 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりです（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額235,978千円は、過年度分損益勘定留保資金214,792千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額21,186千円で補填します。）。

収入

資本的収入	243,399千円
企業債	219,600千円
負担金	1,714千円
他会計負担金及び補助金	14,085千円
国庫補助金	8,000千円

支出

資本的支出	479,377千円
-------	-----------

建設改良費 260,410千円

企業債償還金 218,967千円

- 4 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりです。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	75,700 千円	普通貸借 又は証券 発行	3.0%以 内。ただ し、利率見 直し方式 で借り入 れる資金 について 利率の見 直しを行 った後 においては、 当該見直 し後の利 率とする。	政府資金については、 その融資条件により、 銀行その他の場合には はその債権者と協定 するものによる。ただ し、企業財政の都合に より据置期間及び償 還期限を短縮し、又は 繰上償還若しくは低 利に借り換えするこ とができる。
流域下水道事業	143,900 千円	同上	同上	同上
計	219,600 千円			

- 5 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用とします。

- 6 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければなりません。

(1) 職員給与費 91,245千円

- 7 たな卸資産の購入限度額は、3,565千円です。

- 8 主要施策の状況

(1) 令和元年台風第19号の影響により緊急を要すると判断されるため、当初は3年間で行う予定でしたが令和2年度中に完了する計画で福岡江川護岸嵩上げ工事を行います。

予算額 29,270千円（継続）

(2) 長期予測を踏まえた改築費用の平準化を図るため、ストックマネジメント計画策定業務委託を行います。

予算額 22,000 千円（国庫補助対象・補助率2分の1）（継続）

(3) 富士見市が設置する砂川堀第2雨水幹線ゲート施設負担金を支払います。

予算額 52,030 千円（再計上）（負担割合52%）